

諮問第 16 号の答申 国民経済計算の作成基準の変更について[平成 23 年 5 月 20 日](抄)

1 変更の適否

(略)

2 理由

(略)

- 3 今後の課題 内閣府は、以下に掲げる 08 SNA の導入等の課題への対応を進める中で、利用者の意見を踏まえ、作成基準の見直しの検討を行う必要がある。また、作成基準そのものについても、記載事項に粗密があり他に記載すべき事項があるのではないかという意見もあることから、この点に関する見直しについても検討を行う必要がある。

(1) 08 SNA の導入

次々回基準改定での本格導入に向け、産業連関表とも連携を図りつつ、内閣府において、国際比較可能性や利用者の利便性に十分配慮し、優先順位を考えた計画に基づき検討を進めることが適当である。その際、次々回基準改定を待たずとも、可能なものについては前倒しして対応することが望ましい。

(2) 経済センサス 活動調査に係る年次推計等の抜本的な見直し

経済センサス-活動調査(平成 28 年実施予定)に対応した供給・使用表(SUT)の検討やコモディティ・フロー法の見直しを含む基礎統計整備を勘案した年次推計等の抜本的な見直しに関しては、引き続き内閣府において研究を進めることが適当である。